

■地域保健学域 総合リハビリテーション学類 作業療法学専攻

○カリキュラム・ポリシー

1. 1～2年次に開講する生命倫理学・臨床心理学・人間発達学等の科目を通して、生命の尊さと人の尊厳について、人間の身体・社会的発達の観点から深く学ぶ。
2. 2～3年次に開講する身体障害作業療法学・精神障害作業療法学・発達障害作業療法学・老年期障害作業療法学等の科目を通して作業療学分野の科学的専門知識・技術を学習するとともに臨床実習関連科目で陶冶される実践力に基づき、疾病予防から身体・精神機能障害の回復、維持・向上を図り、社会復帰や社会参加をめざす人びとを支援する能力を身に付ける。
3. 2～3年次に開講する公衆衛生学において保健分野、リハビリテーション概論において医療分野、コラボレーション論において福祉分野、地域リハビリテーション論において地域分野の各分野で活躍する専門職者と連携し、調整的な機能が果たせる能力を身に付ける。また、臨床実習科目において各職種との連携について実践力を養う。
4. 1～2年次に開講する情報基礎等の情報処理関連科目において情報リテラシー能力と Academic English 等の語学関連科目においてコミュニケーションスキルを身に付け、地域社会並びに国際社会に貢献しうる能力を身に付ける。
5. 作業療法学総論において、作業療法の成り立ち、医療・福祉分野での作業療法士の役割を学習し、3～4年次に開講する作業療法研究法・作業療法卒業研究において自己学習能力と探究的態度など作業療法実践に関する学術的探求の基礎能力を身に付ける。